



## 国際演習A

九州大学グリーンアジア国際リーダー教育センター・助教  
**前 奈緒子**

国際演習Aとは、社会学系教員が総括リーダーとなり、グリーンアジアの理念に沿った課題を据えた討論会を月1回の頻度で開催する。この演習を通じ、学生は独自の研究課題(科学技術論、社会・産業論)を見だし、総括リーダー、MCUの支援を受けながら研究を進める。全体的な流れは下の図ようになる。

最終的に、自身の研究について発表するとともに、その成果を踏まえ、「グリーンアジア自由課題論文」を作成、第4ステージゲートに臨む。審査に合格した論文は、本プログラムの自主ジャーナル「Evergreen」に掲載する。さらに、社会科学系教員と学生の連盟による学術誌などへの論文投稿を目指す。

昨年度に6人の日本人学生、本年度は5人の日本人学生と9人の留学生がグリーンアジア自由課題論文を作成した。その内2名は外部の学術誌に、9名は「Evergreen」に既に論文を投稿しており、残りの9名はこれから投稿予定である。学生は全員その成果を学内で発表し、作成した論文を自身の博士論文に用いる学生もいた。国際演習A1～A4を振り返ると、自身の研究課題を決定するのに苦労した学生も多かったが、ミーティングを通して社会科学的な思考や知識

を身に付け全員テーマや方法論を決定した。決定してからは個別に調査や研究を進め、充実した内容の論文を作成することが出来たようである。修了生からは授業で新たな視点を得たことにより、自身の研究に関する視野が広がり、研究に厚みを持たせることが出来たという声があった。

現在履修中の学生は、修了生や先輩が書いた論文を参考にし、月1回のミーティングを重ねながら、テーマや方法論を決定し、調査・研究を継続して行っている。来年度も提案書を基に月1回の全体ミーティングや個別のミーティングを踏まえ、調査・研究を継続していく予定である。



### 国際演習A (IE-A)

概要図

